

愛・アマチュア (1994)

AMATEUR

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ／イギリス／フランス
色彩 Color
時間 106分
初公開日 1994/12/23
公開情報 フランス映画社
リバイバル 2014/01/18 [JVD]

【解説】

I・ユペールという存在感充分な女優を主演に得て、今までどこか自主映画の域に座してよかれーという気配もあったハートリーが、いよいよゴダールの映画との〈格闘〉を始めた。部分的な躓きも多い作品だが、映画の有限性の中で生ききること〈永遠〉につながるとする、作者及び出演者の意志がこれほど明確に伝わってきた作品も希で、これは、ハートリーが身につけた良きアマチュアリズムが純化され、しっかりと息づいているからだろう。

自ら望んでこの作品に出演を果たしたユペール扮するは、尼僧院を出たばかりのポルノ作家という奇矯なキャラクター。彼女、イザベルは殺されかけ記憶を失った男をカフェで拾い、自室で介抱するが、彼はオランダの組織のNY代理人で、悪事なら何でもやったという御仁。内妻の〈ロリータ・ポルノ〉の女王ソフィアは彼に暴力で縛りつけられ、たまらず裏町の路地で彼を殺めようとしたのだ。そして、組織の会計係のエドワードと、不正を記録したフロッピーで組織をゆすって得た金で逃亡を図ろうと企てるのだが、堂々巡りのうちに、いまや一介の優男にすぎない夫トーマスに再会する。自分を地獄に落とした悪魔は、窮地に陥った彼女を助けようとさえするのだ……。

独特の靈感に従って行動する、〈色情狂の処女〉を演じるユペールは、アンナ・カリーナとジャンヌ・モローをかけ合わせたような、落ち着きの中にも鮮烈な閃きをみせて見事。最高にユニークな女優レーヴェンソン（まさに現代の“ルル”だ）もその魅力全開。トーマス役のハートリーの盟友ドノヴァンがぐっと輝きを増して役者らしくなってきたことも特筆に値する。彼らの運命の交錯をまさに〈映画的〉必然の中で、鋭い映像感覚をもって描く、NY派俊英の新たな出発点である。

【クレジット】

監督	ハル・ハートリー	Hal Hartley
製作	テッド・ホープ	Ted Hope
	ハル・ハートリー	Hal Hartley
製作総指揮	ジェローム・ブラウNSTEIN	Jerome Brownstein
	リンゼイ・ロウ	Lindsay Law
	スコット・ミーク	Scott Meek
	イヴ・マルミオン	Yves Marmion
脚本	ハル・ハートリー	Hal Hartley
撮影	マイケル・スピラー	Michael Spiller
音楽	ジェフ・テイラー	
	ネッド・ライフル	Ned Rifle
出演	イザベル・ユペール	Isabelle Huppert
	マーティン・ドノヴァン	Martin Donovan

エリナ・レーヴェンソン
ダミアン・ヤング
チャック・モンゴメリー
デヴィッド・シモンズ
パメラ・スチュワート

Elina Lowensohn
Damian Young

Pamela Stewart